

新地域連携構築 No.1 目次



要旨

これから益々増加していく高齢心不全患者に適切に、そして効率的に対応できる新たな地域医療介護連携体制の構築に関して、心不全のガイドライン等より解説しています。

心不全に関するステートメントの要点 [02.20~]

2016年10月に制作された「高齢心不全患者の治療に関するステートメント」の要点を解説しています。
75歳以上の高齢者の大半が心疾患以外の併存症を有しているなどの高齢心不全患者の3つの特徴が、これから策定する新たな地域連携体制に重要な意味を持つこととなります。

心不全患者の4つのステージ [09.34~]

患者さんがA~Dのどのステージいるのかを的確に把握した上で、循環器の専門医の指示のもとに患者さんの個別支援計画を設定し、関係者が適切に連携して実践できる体制について解説しています。

心不全患者の急性期、慢性期、療養期での連携の留意点 [11.40~]

急性期から療養生活の間で、出す側と受ける側が相互に助け合う仕組みが機能することで、地域医療介護連携が円滑になる仕組みについて解説しています。

新たな地域連携体制で不可欠な仕組みについて [13.10~]

新連携体制を構築する上で必要となる新たな仕組みについて解説しています。